

大腸菌群・*E.coli* 同時検査用酵素基質培地 (SWAB TEST, Swabstar 専用)

Pro-media ST-SSP

● ST-SSPは、SWAB TESTおよび Swabstar 専用のX-GAL・MUG培地です

● SWAB TEST, Swabstarの容器で培養できます

● コストおよび廃棄量の削減

- 高さ4.5cmの小さな容器（ポリエチレン）は廃棄量の削減になります。
- 滅菌済ですので、培地作成や試験管の用意などの前後処理が要りません。
- *E.coli* 検査の際は、BL-365N（λ 365nmの紫外線ライト）をご用意下さい。



滅菌液体培地 Pro-media ST-SSP



SWAB TEST Pro-media ST-25PBS



LEDブラックライト BL-365N



Swabstar



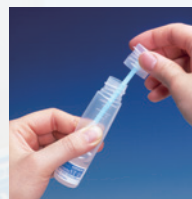
商品名	コードNo.	仕様	入数
滅菌液体培地 Pro-media ST-SSP	ST-SSP	ラウリル硫酸 X-GAL・MUG培地 検体5mL用	300本（10本/アルミ袋×30）
SWAB TEST Pro-media ST-25PBS	ST-25PBS	りん酸緩衝生理食塩水 10mL	400本（10本/箱×10×4シュリンクパック）
	ST25-100	拭き取り部：レーヨン	100本（10本/箱×10×1シュリンクパック）
Swabstar	SS-01-400	りん酸緩衝生理食塩水 10mL 拭き取り部：ポリエステル	400本（10本/箱×10×4箱）
	SS-01-100		100本（10本/箱×10×1箱）
	SS-01-050		50本（10本/箱×5×1箱）
LEDブラックライト	BL-365N	<i>E.coli</i> 検査用 波長：365nm	1個

※仕様及び価格は予告なく変更する場合があります

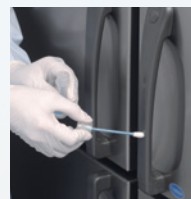
使用方法

拭き取りを行う (SWAB TESTまたは Swabstar)

- ① 容器のラベルに、ID（検査箇所や日付等）を記入する
- ② SWAB TESTまたは Swabstar のキャップを開け、容器の外側から綿を絞る
- ③ 検査箇所を拭き取る
- ④ 拭き取った後の綿棒付キャップで容器を閉じ、混釈する
- ⑤ これを試料原液として検査に供する



綿をしぼる



拭き取る



混釈
(試料原液の完成)

大腸菌群・*E.coli* の検査を行う

- ① 上記で用意した試料原液を、一般生菌検査などに使用した後、容器に5mL 残り余剰分を廃棄する
- ② SWAB TESTまたは Swabstar のキャップの上蓋をあげ、ST-SSPを注入する
- ③ SWAB TESTまたは Swabstar の容器ごと培養する 培養時間：24時間
培養温度：36±1℃
- ④ 判定 大腸菌群陽性：内容液が青色を呈する
E.coli 陽性：ブラックライトBL-365N（λ 365nm）を照射して、内容液が蛍光を呈する
※ *E.coli* は室内光で確認できます



上蓋を開けて
ST-SSPを注入



陰性



大腸菌群陽性
(36±1℃ 24時間培養後)



E.coli 陽性

※写真は旧製品を使用しております

総発売元

株式会社 エルメックス

〒162-0842 東京都新宿区谷砂土原町2-2

TEL:03-5229-7911 FAX:03-5261-4130

URL://www.elmex.co.jp e-mail:sales@elmex.co.jp